

有 本 建 男 教 授

役 職：博士課程科学技術イノベーション政策プログラムディレクター代理、修士課程科学技術イノベーション政策プログラムディレクター代理
専門分野：科学技術イノベーション政策、研究ファンディング・マネジメント
学 位：修士（物理化学）（京都大学）
略 歴：1974 年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、科学技術庁入庁。科学技術庁研究振興局科学技術情報課長、原子力局廃棄物政策課長、科学技術政策局政策課長、宇宙開発事業団ロス・アンジェルス所長、海洋科学技術センター企画部長、日本原子力研究所広報部長、理化学研究所横浜研究所研究推進部長、内閣府大臣官房審議官（科学技術政策担当）、文部科学省大臣官房審議官（生涯学習政策担当）などを経て、2004 年文部科学省科学技術・学術政策局長。05 年内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、06 年から独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センターセンター長、2012 年 4 月本学教授（現在に至る）、（兼）科学技術振興機構研究開発戦略センター副センター長。

1. 業 績 (A)

(1) 雑誌論文

① 単 著

- * 有本建男、「科学と政府をつなぐ—政策形成における科学と政府の役割と責任—」、『学術の動向』、日本学術会議、2012 年 4 月。
- * 有本建男、「社会技術研究開発センターの試み—“社会のための科学”の実践」、『学士会会報』、学士会、2012 年 5 月。
- * 有本建男、「科学と政治をつなぐ—科学と政治の接近とそのルール作り」、論説、『化学と工業』、日本化学会、2012 年 6 月。

② 共 著

- * 有本建男・佐藤靖、「「科学技術イノベーション政策の科学」と客観的根拠に基づく政策形成のための行動規範の策定と実践に向けて」、『研究・技術・計画』、vol.27, No.3/4/2012、研究・技術計画学会、2013 年 4 月。（※）
- * Tateo Arimoto and Yasushi Sato, “Rebuilding Public Trust in Science for Policy Making,” *Science*, vol.337, pp1176-1177, 2012.（※）
- * 佐藤靖・有本建男、「科学的知見と政策形成—いま求められる政策現場への貢献—」、『年報 科学・技術・社会』、第 21 巻、87-105 頁、2012 年。（※）

(2) 図 書（編・共著等）

- * 『科学技術と知の精神文化Ⅳ—科学と文化』、編集委員、科学技術振興機構・社会技術研究開発センター編、丸善プラネット。
（参考）2009 年 3 月に『科学技術と知の精神文化—新しい科学技術文明の構築に向けて』、2011 年 3 月に『科学技術と知の精神文化Ⅱ—科学技術は何をよりどころとし、どこへ向かうのか』、2012 年 3 月に『科学技術と知の精神文化Ⅲ—創造性と環境』を出版。

(3) 学会発表

- * Tateo Arimoto, US-Japan Workshop on Sustainability, organized by National Academy

of Sciences, USA and Japan Science & Technology Agency, “Recent Trends in Japan’s Science and Technology Policies for Sustainable Energy” (Invited speaker), Washington DC, June 26, 2012.

- * 有本建男、研究技術計画学会シンポジウム、「大転換の時代、科学技術の役割と責任」（招待講演）、早稲田大学、2012年7月6日。
- * Tateo Arimoto, International symposium on innovation, organized by Honda Foundation and Indonesian Federation of Industries, “Innovation System and Policy - Administrative viewpoints - ” (Invited speaker), Jakarta, Indonesia, July 16, 2012.
- * 有本建男、日本学術会議・分子科学研究所共催ワークショップ、「未来を拓く学術のあり方：化学の率いる持続社会」（招待講演）、岡崎コンファレンスセンター、2012年8月8日。
- * Tateo Arimoto, China-Europe Workshop on Grand Socio-technological Challenges, organized by Rathenau Institute, Netherland and Chinese Academy of Sciences, “Disruptive Emergencies- from the political and S&T challenge perspectives; Lessons learned from the tragedies of 3.11, 2011” (Invited speaker), Beijing, China, September 6-7, 2012.
- * Tateo Arimoto, Joint Symposium by Seoul National University, Institute of Basic Science and JST (organizer and plenary speaker), Daejeon, Korea, December 5-7, 2012.
- * Tateo Arimoto, International Symposium on Science of Science and Innovation Policy, “Toward Synergetic Collaborations and Realization of Innovation” (invited speaker), Tokyo University, Tokyo, December 13, 2013.
- * Tateo Arimoto, US library of Congress, Lecture and discussions, “Japan’s New Government and New Science, Technology & Innovation Policy” (Invited speaker), Washington DC, USA, January 8, 2013.
- * Tateo Arimoto, American Association for the Advancements of Science, AAAS2013 Symposium, “Global Trends in Science, Technology & Innovation Policy- Bridging Science and SEP: Society, Economy and Policy” (Organizer and plenary speaker), February 17, 2013, Boston, USA.
- * Tateo Arimoto, “Nuclear Power Policy and Low Carbon Society in Asia,” 3rd GELs International Symposium, “Bridging Science and Policy - Role and Responsibility of Scientists and the Government under the Uncertain World” (Invited speaker), Hiroshima University, March 25, 2013.

2. 教育

講義

- * 「技術革新と社会変貌」公開セミナー

3. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 博士課程科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー
- * 修士課程科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー

(2) その他

- * 博士課程科学技術イノベーション政策プログラム、ディレクター代理

- * 修士課程科学技術イノベーション政策ディレクター代理
- * GRIPS 科学技術イノベーション政策プログラムの創設準備
- * 文科省、内閣府、関係大学、関係機関との調整
- * GRIPS/GIST セミナー・企画実施

4. 社会的貢献（A）

（1）他大学・研究所等における活動

① 非常勤講師等

- * 同志社大学客員教授（2005年～）「科学技術イノベーション戦略」、15コマ/年
- * 東京理科大学客員教授（2005年～）「科学と文化」、1コマ/年
- * 早稲田大学客員教授（2008年～）「科学技術戦略論、リーダー論」、5コマ/年
- * 東京大学非常勤講師（2007年～）「科学技術と社会」、2コマ/年
- * 広島大学客員教授（2010年～）「科学技術と大学」、1コマ/年
- * 東京工業大学非常勤講師（2011年～）「科学技術と社会」、2コマ/年
- * 京都大学特任教授（2013年～）「科学技術と社会。リーダー論」、8コマ/年

② 委員会等

- * 広島大学・経営協議会委員（2007年～）、学長選考会議外部委員（2010～）4回程度/年
- * 京都大学・経営協議会委員（2008年～）、学長選考会議外部委員（2013年～）4回程度/年
- * 京都大学・リーディング大学院思修館プログラム 外部評価委員長（2013年～）2回程度/年
- * 東京大学・政策ビジョン研究センター顧問（フェロー）（2009年～）1回/年
- * 東京大学・フotonサイエンス・リーディング大学院外部評価委員（2012年～）3回程度/年
- * 東京大学高齢化研究機構 外部諮問委員（2012年～）2回程度/年
- * 成蹊学園・学園長候補者選考委員会委員（2011～2012年）3回程度/年

（2）財団法人等における活動

① 役員，委員会

- * 本田財団業務執行理事（2011年～）
- * 武田計測先端知財団・科学技術国際戦略検討委員会委員長（2009年～）
- * 武田計測先端知財団
国際政策対話プロジェクト：「アジアにおける科学技術の地域連携」諮問委員会委員（2011～）
- * キヤノン財団研究助成選考委員（2009年～）
- * 東レ科学振興会評議員（2010年～）
- * 仁科記念財団評議員（2011年～）

（3）学会等における活動

- * 日本化学会名誉会員（2005年～）
- * 日本工学アカデミー会員（2006年～）
- * 研究・技術計画学会会員（2012年～）
研究・技術計画学会 2013年度・年次総会実行委員長

（4）審議会等における活動

- * 文部科学省・科学技術学術審議会・研究評価部会委員（2007年～）
- * 文部科学省・科学技術政策研究所・定点調査委員会委員（2007年～）
- * 文部科学省・科学技術イノベーション政策のための科学推進委員会委員（2011年～2012年）

5. 社会的貢献（B）

（1）ジャーナリズムでの発言（活字メディア）

- * （インタビュー）「科学者が信頼されない国」、『朝日新聞』、オピニオン、1面、2013年1月24日。

（2）講演会，座談会，会議出席

- * Invited speaker, Meeting of the U.S.-Japan Science and Technology Joint Working Level Committee, organized by US Department of State and Japan Ministry of Foreign Affairs, Washington D.C., July 16-17, 2012.
- * 会議企画・構成・総合司会：シンポジウム「科学と政策をつなぐー政策のための科学の実践に向けて」、GRIPS 主催、JST 研究開発戦略センター（CRDS）後援、2012年8月6日、スピーカー；国会議員：鈴木寛、林芳正、斉藤鉄夫、土屋定之・文部科学省科学技術学術政策局長、大西隆・学術会議会長、吉川弘之・CRDS センター長、中村道治・JST 理事長ほか。
- * 会議企画・構成・司会：シンポジウム「研究に着目した日本の大学ベンチマークと今後の大学のあり方について」、GRIPS、科学技術政策研究所主催、文科省、日本学術振興会、JST 後援、2012年10月1日、スピーカー；坂東久美子・文科省高等教育局長、安西祐一郎・日本学術振興会理事長、桑原輝隆・科学技術政策研究所長、有信睦弘・東大監事、住川雅晴・産業競争力懇談会実行委員長ほか。
- * 対応・とりまとめ：Lessons Learned from the Fukushima Nuclear Accident for improving Safety and Security of US Nuclear Plants, Meeting #3, November 26-28, 2012, The National Academy of Sciences USA, and GRIPS, 参加者；アメリカ科学アカデミー特別委員会（ノーマン・ニューライター委員長他23人、アメリカ大使館、日本側：原子力規制委員会、東京電力、東北電力、国会事故調、民間事故調、日本学術会議他。日本側は、有本、角南他 GIST グループで対応・とりまとめ。
- * パネリスト：第2回計算科学シンポジウム、日本学術会議、2012年12月10日。
- * モデレーター、科学技術イノベーション政策における政策のために科学、基盤的研究・人材育成拠点国際シンポジウム 「科学技術イノベーション政策研究の過去・現在・未来」、GRIPS、2012年12月14日。
- * パネリスト：「エネルギー・環境政策に関する国民的議論の振り返りワークショップーこれからの『政策形成のあり方』を考える」、大阪大学、2013年1月26日～27日。
- * 基調講演：情報・システム研究機構 新領域融合研究センター・シンポジウム「システムズ・レジリエンスー想定外を科学するー」、日経カンファレンスルーム、2013年2月26日。
- * パネリスト：東京大学科学技術イノベーション政策のための科学 第2回国際シンポジウム「科学技術イノベーションプロセスのためのエビデンスの利用と人材育成」、国際文化会館、2013年3月9日。

6. 社会的貢献（B）

ジャーナリズムでの発言（活字メディア）

- * （インタビュー）「科学者が信頼されない国」、『朝日新聞』、オピニオン、1面、2013年1月24日。

7. その他（特許、学会賞等の受賞など）

- * 「2012年度研究・技術計画学会賞」、2012年10月

受賞理由：「科学技術と社会について、先行的課題としてとりあげて開拓を図ったこと、ならびに当該分野の方向性を定めて精力的に導いたこと」